

平成30年度 熊本学園大学春期公開講座

平成30年度の春期公開講座は2つの講座を開講いたします。ぜひご参加ください。

《講座Ⅰ》 AI (人工知能) で暮らし・仕事は どのように変わっていくのか？ 全4回

近年になってAI (人工知能) という言葉をよく耳にするようになってきました。「そもそもAIっていったいなんなの」、「日常生活のどこにAIが使われているの」と疑問をお持ちの方々もおられると思います。本講座ではこれらの疑問を明らかにし、AIによって私たちの暮らしや仕事、教育がどのように変わろうとしているのかを考察していきます。

◇開講期間：5月26日～7月7日(隔週土曜日) 午前10時～12時

講義日	講義テーマ/講師
5/26(土)	アンドロイドは言葉を理解するか(現状と未来) 商学部准教授 川田 亮一
6/ 9(土)	AI/ビッグデータによって教育・学びはどう変わるか？ 京都大学教授 緒方 広明
6/23(土)	クルマの自動運転で変わる暮らしと自動車保有の変化 商学部教授 吉川 勝広
7/ 7(土)	情報化社会/暮らしを支える情報通信について 商学部教授 得重 仁

《講座Ⅰ》 特別講演会 「計算で世界を理解する」 (国)理化学研究所 イノベーション推進センター 理学博士 中村 振一郎 氏

科学は世界を・人々の生活を・環境をいかに豊かにしてきたか。とくに、計算科学・AIによる研究成果(AI医療、AI健康、そしてAI農業...) 未来の課題は残る。科学少女・少年になろう！

日時：平成30年6月9日(土) 午後2時～4時
会場：熊本学園大学14号館 高橋守雄記念ホール
募集人員：400名(先着順) *受講料無料
※この特別講演会のみでもお申込みいただけます。

《講座Ⅱ》 高齢者の在宅支援と看取りを考える 全4回

超高齢社会の日本において、多くの人々が自宅で最期を迎えたいと望むにもかかわらず、大部分はそうではありません。高齢者が住み慣れた地域で、自分らしく生き残るためにはどういった支援が必要なのか、家族や専門家とどう連携していくのか。現場で実践している医師や福祉の研究者など、それぞれの視点から考察していきます。

◇開講期間：6月2日～7月14日(隔週土曜日) 午後1時～3時

講義日	講義テーマ/講師
6/ 2(土)	在宅医療の現場から —自分で選択して自分らしく生き残る— 医療法人社団なつみ会 まえだクリニック院長 前田 淳子
6/16(土)	エイジング・イン・プレイス —高齢期に住み慣れた地域で暮らし続けるために— 社会福祉学部准教授 仁科 伸子
6/30(土)	地域で利用できる医療福祉サービス 社会福祉学部特任准教授 加来 克幸
7/14(土)	ケアをすることと現前性 —介護人類学：人間の体験としてのケア— 元社会福祉学部教授・精神科医 下地 明友

募集要項(講座Ⅰ・講座Ⅱ 共通)

- 対象：社会人 ■定員：各80名(先着順)
- 受講料：各4,000円
- 募集期間：平成30年4月11日(水)～4月27日(金)必着
- 申込方法：①裏面の申込書にご記入の上、郵送またはFAXでお送りください。
②受講料払込用紙を郵送いたしますので、指定期日までに払込みください。

◇特別講演会のみお申込みの方

〒住所・氏名・年齢・電話番号をご記入のうえ、ハガキまたはFAXでお送りください。

《お申込み・お問合せ》

熊本学園大学 地域連携センター事務室
〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5-1

FAX 096-366-3158

TEL 096-364-8729(直通)

月曜～金曜
9:00～17:00

<http://www.kumagaku.ac.jp>

熊本学園大学 公開講座 検索



